

幼児教育研修（年齢別担任研修1歳児 第2回）

受講者数 95名

日時 令和4年10月18日（火） 15:00～17:00

場所 竹の塚地域学習センター

講師 東京未来大学 非常勤講師 小野崎 佳代 氏

【内容】～子どもの発達と保育者の関わりについて～

1歳児は、自分と他者との区別がつき始め、相手も自分と同じ主体だと認識し始める時期です。友達との物の取り合いや、一見すると欲張りに見える行動も、自己意識が芽生え、自己拡大を試みるとても大事な姿です。1歳児の保育の様子をビデオ視聴し、一人一人に寄り添う（思いを受け止める）丁寧な保育について考え、求められる保育者の関わりや遊び込める環境について学びます。

**【受講者の感想】***** 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか**

- ・子どもたちが自分で選び、すぐに手に取って遊べる環境設定をしていきたい。
- ・室内の色調を見直し、家庭的な優しい雰囲気づくりをする。また、パーテーションの高さの見直しや場所の設定を職員で共有・確認していく。
- ・他園での活動や室内環境、おもちゃなどを見ることができて良かった。手作りしているものが多く、真似できるものを作って保育に取り入れていきたい。
- ・活動の区切りや場を動く際は、職員間で声をかけ合ってその場を共有していく。「まだ遊びたい」「〇したい」という子どもの思いに、気持ち良く応じられるように連携する。
- ・意欲と好奇心にあふれている時期ということを念頭に置いて、子どもの思いを想像しながら対応する。
- ・子どもたちにとって保育者も環境の一部なので、関わり方や声のかけ方を見直していきたい。
- ・無理に援助したり仲立ちしたりせず、子どもたちの力を信じて見守っていきたい。
- ・一人一人の思いを受け止め、自我の育ちをしっかりと支えていきたい。